

2. 放射性ストロンチウム分析法

1. 対象者

環境放射線（能）モニタリングの実務担当者

2. 概要

環境試料の放射性ストロンチウム分析法の基礎となる放射化学分析法等を習得するとともに、化学分離、ベータ線測定、測定データの解析等の実習を通じて技術的な手法等を習得します。

実習では、実際の環境試料（前処理済みの灰試料及び土壌試料）を用いて、酸分解・酸抽出、沈殿分離、イオン交換分離、測定試料の調製並びに低バックグラウンド β 線測定装置による測定までの一連の操作を行います。

また、精度管理で求められる分析結果の「不確かさ」についても学びます。

3. 内容

下表のとおり

分類	科 目 名	時間数
講義	放射化学分析法概論	1.5
	放射性ストロンチウム分析法解説 （迅速分析法含む）	2.5
	安定元素の分析方法（ICP-AES 法）	1.0
	低バックグラウンドベータ線測定法 （ストロンチウム 89 の求め方含む）	2.0
	不確かさの求め方	0.5
実習	イオン交換法（灰試料、土壌試料）	30.5
	安定元素の分析（灰試料、土壌試料）	12.5
	放射能濃度の計算方法	2.0
	放射能測定データの解析、データ整理	1.5